

2020年度 藍野高等学校 学校評価

1 めざす学校像（教育目標）

【衛生看護コース】

三年間で准看護師の資格を取得し、その後、藍野大学短期大学部第一看護学科を含む看護師養成二年課程を主とする学校への進学により、看護師の資格取得を目指す。看護・保健分野で活躍する人材に必要とされる知識、技能および倫理観を身につけ、他の医療職と協働して問題解決が図れる資質を形成する。

【メディカルサイエンスコース】

将来、医療職に就業するために必要な一般教育および専門基礎教育を行う。一般教育では、学習指導要領に拠り、医療職としてはもとより、広く社会生活を円滑におくるための基盤となる知識・技能を身につける。専門基礎教育では、医療職に求められるリテラシーや科学的知識、また協働して問題解決を行える素地となる態度や行動力を培う。藍野大学医療保健学部を含む医療系四年制大学への進学を目指す。

2 中期的目標

1 基礎基本的な学力の定着

- (1) 指導要領による教育課程の検証
- (2) 基礎力診断テスト・実力診断テスト（ベネッセ主催）の実施と考察
- (3) 個人面談の複数回実施
- (4) 長期休暇中の補習と放課後の希望者による補講の実施
- (5) 基礎教科における学力向上のためのグループ編成の研究と実施
- (6) 校外で実施される教員研修への参加奨励

2 准看護師試験合格率 100%達成（衛生看護コース）

- (1) 准看護師試験模擬テストの複数回実施
- (2) 模擬テスト結果を参照した習熟度別グループ分けによる効果的な補習
- (3) 看護に関するレポート・小論文の作成指導の徹底
- (4) 関係医療機関との密な連携
- (5) 看護師を強く志望する意欲を持ち、学力に優れた入学生の確保

3 高大連携の取り組みに力をいれる（メディカルサイエンスコース）

- (1) 医療系四年制大学進学を念頭においた授業の実施
- (2) 藍野大学等との高大連携に基づく進路指導の実施

4 学習環境の整備

(1) 校舎・校地の清掃の徹底

(2) 教室・設備の充実

5 学校運営の充実と検証

(1) 生活指導体制の強化と充実

(2) 学校生活の充実を目的とした諸調査実施と検証

(3) 教職員の質の向上

2020年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.1

中期的目標	学習指導要領に基づく基礎・基本的な学力の定着	
本年度目標	基礎・基本的学力の定着を図る	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
<p>ア. 4月末までにシラバスを作成、教育課程研究協議会等の教科研修会に積極的に参加する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に即しているかを点検 ・教科研修会に多く参加できたか 	<p>基礎・基本的学力の定着を図る</p> <p>ア. 4月末までにシラバスを作成、教育課程研究協議会等の教科研修会に積極的に参加する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に即しているかを点検 <p>各教科・科目について学習指導要領の内容に即したシラバスは概ね期限内に作成できた。2020年度新設のメディカルサイエンスコースにおいては、大学受験対策を視野にいたした授業展開をすべくシラバスを作成した。また、2022年度からの学習指導要領改訂に向けて、各教科・科目について授業計画等の見直しを図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科研修会に多く参加できたか <p>教科研修会については新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催が中止になったものも多く、例年に比べて参加件数は少なくなっている。</p>
<p>イ. 基礎力診断テスト（ベネッセ主催）を活用して生徒の学力を把握し、生徒全員の学力向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談の複数回実施 ・補習・補講の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストを活かしての学習改善・面談の複数回実施 ・定期考査後の補習を充実させる ・長期休暇中の課題・補講を全教科で考える 	<p>イ. 基礎力診断テスト（ベネッセ主催）を活用して生徒の学力を把握し、生徒全員の学力向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談の複数回実施 ・補習・補講の実施 ・基礎力診断テストを活かしての学習改善・面談の複数回実施 <p>英・数・国について生徒の学力把握を目的に基礎力診断テスト・実力診断テスト（ベネッセコーポレーション主催）を各学年、学期始めに実施した。実施前には事前学習を促してはいるが、テスト結果を活用して組織的に学習改善を行えるまでにはいたっていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査後の補習を充実させる <p>各学期終了後の長期休暇中（夏期、冬期、春期）に成績不良者（欠点以下の生徒）に対し補習を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇中の課題・補講を全教科で考える <p>長期休暇中の課題については、各教科の裁量にまかされているため、課題内容や分量が適切であるか、判断が難しい。</p>
<p>ウ. 主要教科における学力向上のためのグループ編成の研究と実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストによる学力グループ編成と検証 ・学力底上げのための教材準備 ・学習意欲の高い生徒への補助教材の準備 	<p>ウ. 英・数・国などの教科において、学力向上を意識した効果的なグループ編成を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストによる学力グループ編成と検証 ・学力底上げのための教材準備 ・学習意欲の高い生徒への補助教材の準備 <p>基礎力診断テスト・実力診断テストの結果は、各教科・各学年において分析し、授業やクラス運営に活かせるよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力底上げのための教材準備 <p>学力底上げのために、中学校で扱われている内容に関する問題も活用して教材準備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の高い生徒への補助教材の準備 <p>学習意欲の低い生徒に対する学力の底上げを意識した教材作成の取り組みは教科毎になされている。一方で学習意欲の高い生徒に対する学習指導はほとんどできていない。</p>
<p>エ. 朝学習を実施し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員主導型でなく、できるだけ生徒に主体的に参加をさせる 	<p>エ. 朝学習を実施し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員主導型でなく、できるだけ生徒に主体的に参加をさせる <p>毎日、朝礼後に実施している「朝学習」は、ある程度習慣化され、生徒が主体的に取り組むことができた。ただ、計画的に実施できていないものも見受けられ、今後取り組むべき課題も多い。</p>

オ. 看護教科学習の研究を行う	・看護教育研究委員会の活動や研究を活発に行う	<p>オ. 看護教育研究委員会を立ち上げる</p> <p>・看護教員の連携を深める</p> <p>委員会として必要と考えられる活動は十分に行えていない。授業での指導方法や今後の看護教育のあり方などについて協議できる体制を整える必要がある。</p>
-----------------	------------------------	---

2020年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.2

中期的目標	准看護師資格試験合格 100%連続達成（衛生看護コース）	
本年度目標	准看護師資格試験合格 100%達成（衛生看護コース）	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
ア 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施も含め、3年間を通して計画的な受験対策を行う	<p>1年 看護に興味を持たせ、学習習慣を身につけさせ、基礎看護科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>2年 自己学習力の強化を図り、復習を徹底し、看護専門科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>3年 弱点克服学習を集中的に行い、准看護師試験全員合格を目指す</p>	<p>准看護師資格試験合格 100%達成</p> <p>ア. 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施も含め、3年間を通して計画的な受験対策を行う</p> <p>1年 看護に興味を持たせ、学習習慣を身につけさせ、基礎看護科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>1年生を対象とした准看模試を年1回（2月）、2年生と同一問題で実施した。朝学習の積み重ねが准看模試の結果につながるような取り組みを行うとともに、看護以外の教科も含めた全ての教科において看護に関連する分野への関心を持たせることができるよう努めた。</p> <p>2年 自己学習力の強化を図り、復習を徹底し、看護専門科目の正解率 60%以上を目指す</p> <p>2年生を対象とした准看模試を1回（2月）、1年生と同一問題で実施した。分析結果を次年度の模試実施計画に反映させた。朝学習の積み重ねが准看模試の結果につながるような取り組みを行うとともに、看護以外の教科も含めた全教科において看護に関連する分野への関心を持たせることができるよう努めた。</p> <p>3年 弱点克服学習を集中的に行い、准看護師試験全員合格を目指す</p> <p>3年生については、准看模試を年9回実施した。新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校の影響もあって、例年より実施回数は少なくなったが、1月中旬の学年末考査以降は模試結果によるグループ分けを行い、学習到達度に応じ対策講義を本番直前まで行った。特に学習到達度の低い生徒に対しては、関西広域連合（大阪府）以外の他府県の准看試験も併せて受験（複数受験）するよう指導した。関西広域連合、他府県を併せて最終的には123名全員合格という結果であった。</p>
イ 模擬テスト結果による習熟度別グループに分けての効果的な補習	<p>・長期休暇前の模試でグループ分けを行った下位層が安全圏に近いところまで学力を伸ばせたか</p> <p>・准看護師資格試験において、80%以上得点できる生徒が1/3を超えられるか</p>	<p>イ. 模擬テスト結果を活用した習熟度別グループ分けによる補習の実施</p> <p>・長期休暇前の模試でグループ分けを行った下位層が安全圏に近いところまで学力を伸ばせたか</p> <p>模試結果により習熟度別にグループを分け、グループ別に対策授業や放課後の補習を行った。習熟度別グループ分けにより効果的な補習とすることができた。准看護師資格試験（関西広域連合主催）の自己採点結果では80%（240点）以上得点できた生徒が123名中3名（昨年度は74名中6名）という結果であった。</p>
ウ 看護実習の内容を充実させるため、関係医療機関と連携する	<p>・関係医療機関に迷惑をかけることがなかったか</p>	<p>ウ 看護実習の内容を充実させるため、関係医療機関と連携する</p> <p>・関係医療機関に迷惑をかけることがなかったか</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、病院や保育所での実習が不可となり、全ての臨地実習が代替の校内実習となった。実習病院の協力により指導者の派遣などを依頼できたことにより、臨地実習の目的は概ね達成することができた。</p>

<p>エ 看護に関するレポートおよび小論文の書き方指導の徹底</p>	<p>・関係医療機関の指導者に満足してもらえるレポートであったか</p>	<p>エ 看護に関するレポートおよび小論文の書き方指導の徹底 ・関係医療機関の指導者に満足してもらえるレポートだったか 生徒のコミュニケーション力を育成する目的で始めた「表現力養成講座」を各学年の授業に取り入れて6年目になる。ただ、国語の授業時間内で実施しているため、授業時間数が十分に確保できていない点など、課題も多い。学校全体で組織的に取り組めるような体制づくりが必要である。</p>
<p>オ 看護師を強く志望する学力の高い生徒の確保</p>	<p>・オープンスクールなどの募集関連の行事への参加者数や入学試験の受験者数はどうであったか</p>	<p>オ 看護師を強く志望する学力の高い生徒の確保 ・オープンスクールなどの募集関連の行事への参加者数や入学試験の受験者数はどうであったか オープンスクール等の募集行事において、「准看護師資格」取得が可能な学校である点を全面に出してPRすることを心がけた。また、医療系大学進学を目標とするメディカルサイエンスコースについては、藍野大学との高大連携や藍野大学への特別進学等を主なPR材料として募集活動を行なった。新型コロナウイルス感染対策のこともあり、募集関係行事の実施には色々と苦慮した点はあったものの、2021年度入試については受験者数152名（前年度122名）、入学者数134名（前年度102名）で、過去最多の入学者数となった。</p>

2020年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.3

<p>中期的目標</p>	<p>高大連携の取り組みに力をいれる（メディカルサイエンスコース）</p>	
<p>本年度目標</p>	<p>医療系四年制大学進学を目指した授業展開と進路指導の実施（メディカルサイエンスコース）</p>	
<p>具体的な取組計画・内容</p>	<p>評価指標</p>	<p>自己評価・今後の改善方策</p>
<p>ア 医療系四年制大学進学を念頭においた授業の実施</p>	<p>・大学受験対策を念頭においた授業展開ができたか</p>	<p>医療系四年制大学進学を目指した授業展開と進路指導の実施 ア 医療系四年制大学進学を念頭においた授業の実施 ・大学受験対策を念頭においた授業展開ができたか 各教科とも大学受験を念頭においた授業展開を行うことができた。生徒の学力差が大きい数学や英語などの教科については放課後に補習も実施した。</p>
<p>イ 藍野大学等との高大連携に基づく進路指導の実施</p>	<p>・「総合的な探究の時間」を活用した進路決定の取り組みができたか ・進路情報の提供が可能な環境づくりができたか</p>	<p>イ 藍野大学等との高大連携に基づく進路指導の実施 ・「総合的な探究の時間」を活用した進路決定の取り組みができたか 藍野大学との連携により、大学での学習内容にもふれることができた。2年次実施予定の授業「キャリア探求」で具体的な進路決定ができるよう、まずは生徒に「好奇心をもたせる」ことに努めた。 ・進路情報の提供が可能な環境づくりができたか 大学入試ランキング表や進路情報誌などを教室に置くことで、生徒への進路に関する情報提供に努めた。</p>

2020年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.4

中期的目標	学習環境の整備	
本年度目標	安全で快適な学習環境の整備を行う	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
<p>ア 校舎・校舎周りの清掃を徹底する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生を中心に清掃区域を担当し、全教職員での指導を徹底できたか 	<p>安全で快適な学習環境の整備を行う</p> <p>ア 校舎・校舎周りの清掃を徹底する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生を中心に清掃区域を担当し、全教職員での指導を徹底できたか <p>全教員指導のもと、1年生を中心に各教室、トイレ、体育館などの清掃区域について放課後、一斉清掃を年間を通して行った。</p>
<p>イ 所持品の管理・防犯のために生徒個人用ロッカーを有効活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯の面からもロッカーの使用法についての指導が徹底できたか 	<p>イ 所持品の管理・防犯のために生徒個人用ロッカーを有効活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯の面からもロッカーの使用法についての指導が徹底できたか <p>盗難防止のため、個人用ロッカーの施錠を生徒に徹底するよう指導した。ロッカー施錠に対する意識が低い生徒も存在するため、定期的に注意喚起を行った。教室内に防犯カメラを設置する計画も進行中（2021年度設置予定）である。</p>
<p>ウ 教室・設備の迅速な改修を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や設備の不備を早く見出し、関係部署に連絡を確実に果たしたか ・生徒に施設や設備保全のための指導を行えたか 	<p>ウ 教室・設備の迅速な改修を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室や設備の不備を早く見出し、関係部署に連絡を確実に果たしたか <p>校舎内の巡回や定期的な確認を行うことにより、設備の不備箇所の早期発見に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に施設や設備保全のための指導を行えたか <p>設備保全のための生徒への指導は十分に行えていない。ホームルームなどの時間を活用し、必要な指導を行っていく必要がある。</p>
<p>エ 計画的に教室・設備の整備を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や設備の具体的な整備計画を検討する ・中長期計画の中に不足設備についての解決策の取り組みについて盛り込む 	<p>エ 計画的に教室・設備の整備を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室や設備の具体的な整備計画を検討する <p>長年の懸案事項である「女子トイレ」増設については、ようやく具体的な計画案作成に至り、2021年度に増設工事が行われる予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画の中に不足設備についての解決策の取り組みについて盛り込む <p>教室数の不足の問題については女子寮や旧男子寮（誠和寮）の有効活用も含めて検討を要する。</p>

2020年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.5

中期的目標	学校運営の充実と検証	
本年度目標	生活指導の充実と学校生活充実のための調査・検証	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
ア 挨拶の習慣化をはかる	<ul style="list-style-type: none"> ・実習時だけでなく、普段の学校生活でも挨拶ができたか 	<p>基本的な生活習慣の確立と自主性・主体性の伸長</p> <p>ア 挨拶の習慣化をはかる</p> <p>・実習時だけでなく、普段の学校生活でも挨拶ができたか</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年は実施していた生徒会による「あいさつ運動」などを積極的に行うことができなかった。挨拶を返すことすらできない生徒もいるため、指導を強化する必要がある。</p>
イ 遅刻・早退・欠席をなくするための意識づけを行うとともに、家庭連絡を密に行う	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に比べて遅刻者数が減少しているか ・バス遅延も見越しての早朝登校ができていますか ・5分前行動が生徒だけでなく教職員もできているか 	<p>イ 遅刻・早退・欠席をなくするための意識づけを行うとともに、家庭連絡を密に行う</p> <p>・前年度に比べて遅刻者数が減少しているか</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響による長期間の休校などもあったため、前年との比較による評価は難しいが、遅刻総件数は1647件で前年度（1506件）と比較して学校全体での遅刻者数の減少は見られなかった。遅刻数が極端に多い一部の生徒に対しては、保護者への電話連絡や保護者面談などによる指導を行った。遅刻者に対する入室許可証の発行は徹底できた。</p> <p>・バスの遅延も見越して早朝登校ができていますか</p> <p>雨天時のバス遅延による遅刻者は前年同様に多い。</p> <p>・5分前行動が生徒だけでなく教職員もできているか</p> <p>教員の5分前行動については以前より改善されてきてはいるものの、まだまだ十分といえる状況ではない。各教職員が自覚をもって改善に取り組んでいきたい。</p>
ウ 校内外の研修会を通し、共通理解をもとに教職員が全員で生活指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等の機会を利用して教職員の共通理解が図れたか 	<p>ウ 校内外の研修会を通し、共通理解をもとに教職員が全員で生活指導を行う</p> <p>・職員会議等の機会を利用して教職員の共通理解が図れたか</p> <p>例年のことではあるが、学年や教員によって指導内容に差が出てしまい、それが生徒や保護者の不満に結びつくという状況が見受けられた。職員会議などの場で生活指導部から他校の取り組み状況等も報告され、本校の生活指導の参考にすることができた。</p>
エ 学校生活の充実を目的とした調査の実施・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒ならびに保護者・教職員へのアンケートを実施し、学校生活の向上を図る 	<p>エ 学校生活の充実を目的とした調査の実施・検証</p> <p>・生徒ならびに保護者・教職員へのアンケートを実施し、学校生活の向上を図る</p> <p>例年、定期的に生徒を対象とした「学校生活アンケート」を実施し、いじめ問題等も含めた状況把握に努めているが、2020年度については学校生活アンケートを実施できていない。学校生活の向上を図るためには欠かすことのできないアンケートであるため、毎年実施したい。</p>
オ 教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・予算範囲内で可能な限り、校外での研修会への参加を図る ・看護教育研究委員会を立ち上げ、研究を進める 	<p>オ 教職員研修の充実</p> <p>・予算範囲内で可能な限り、校外での研修会への参加を図る</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、校外研修会については中止になったものも多く、例年に比べると参加数は少なかった。「分掌」や「教科」に関するものを含め、組織的に研修が実施できているとはいえない。特に、校内における新任教員に対する研修については、ほとんど実施できていない。</p> <p>・看護教育研究委員会を立ち上げ、研究を進める</p> <p>校内での看護教育推進を目的として立ち上げた「看護教育研究委員会」については、十分に機能しているとはいえない。本校教育課程において重要な部分となる「看護教育」充実のため、組織的・計画的な運営を目指し努力したい。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2021年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p>保護者アンケート全般について</p> <p>2014年度以降、毎年6月に保護者に対して同一設問でアンケートを実施し、その結果を分析している。新学期が始まって間もない時期のため、保護者には前年度の状況も含めて評価してもらうよう依頼した。</p> <p>最近5年間における3学年全体での回収率は、17年度82.7% 18年度80.3% 19年度77.9%、20年度80.4%、21年度80.8%で、8割前後の回収率となっている。また、最近5年間の各学年の回収率の推移は下記の通りで、1年生は新鮮味もあるのか比較的高く、学年が上がるにつれ低くなる傾向が見られる。なお、回収は担任が中心になって行うため担任の取り組み方にも左右されると考えられる。</p> <p>1年保護者 95.5%→78.0%→78.9%→90.2%→99.2% 2年保護者 82.5%→98.8%→78.4%→58.5%→81.3% 3年保護者 71.1%→66.3%→75.6%→91.1%→56.7%</p> <p>「分析」</p> <p>「危機管理や安全対策」並びに「施設・設備面」の項目については、例年同様、他と比較して否定的な回答が多かった。また、学年が上がるに伴い、施設・設備面での改善が進まない状況に不満を持っている保護者が多いことがうかがえた。なお、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響によって長期間の休校となり、授業も例年通り行えなかった。また、遠足や体育祭、修学旅行などの行事も大半が中止となった。これらのことが生徒の学校生活及ぼした影響ははかり知れないものがある。休校や行事中止のこともあってか、例年と比較すると質問項目によっては「わからない」という回答も多かった。</p> <p>I 特色や方針の明確化について</p> <p>Q1 藍野高等学校からの各種案内文書・ホームページ・保護者会等の機会において、学校の特色や方針を明確に示すことができていると思いますか?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>数値は%、()内は昨年度 肯定の数値：評価する+ある程度評価する（以下同様）</p> </div> <p>3年 肯定 23+51 (26+57) やや否定 13(8) 否定 4(2) 2年 肯定 42+40 (34+46) やや否定 5(12) 否定 1(0) 1年 肯定 46+44 (44+45) やや否定 2(5) 否定 0(0)</p> <p>「分析 I」</p> <p>本校の特色や教育方針については、保護者・中学生に対しオープンスクール等で十分な説明を行うよう心がけた。また、ホームページ内容の充実にも努めたこともあり、肯定的な回答の割合は前年より増加した。行事等の広報をさらにわかりやすくかつ丁寧に行うよう努めたい。</p>	<p>「全般について」</p> <p>A氏より</p> <p>集計結果を見るとほぼすべての項目において、2021年に実施されたアンケートの評価が過去3年間で最も高く、特に1、2年生の保護者の評価が高くなっています。一方で、3年生の保護者の評価が過年度と比べてもかなり下がっている点が気になります。例年同様の傾向があることは承知していますが、コロナ禍の影響がどの程度なのか、進路指導や生活指導が十分であったかなどの検証をお願いします。</p> <p>B氏より</p> <p>全般に教職員のアンケート結果より保護者アンケート結果の評価が高いことは評価委員としても大変嬉しく思います。アンケートの回収率は学年の担当によって差があるようです。学校としての取り組みは全てのことにおいて統一された形で実施されることを望みます。</p> <p>C氏より</p> <p>入学後、間もない1年生の頃は保護者の関心も期待も高く、アンケート回収率も高いと思われます。3年になると熱心な保護者のみ回答されることも考えられ、厳しい評価になっていると想像できます。</p> <p>D氏より</p> <p>保護者アンケートの実施は、学校に対する要望などを素直に伝えることができるので、改善に向けてのヒントとして扱えるよう、続けていただけたらと思います。</p> <p>「特色や方針の明確化について」</p> <p>B氏より</p> <p>ホームページ内容についてはとても見やすく、内容的にもわかりやすいと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>ホームページの充実が「肯定」評価につながっていると思います。</p> <p>D氏より</p> <p>職業高校でもある藍野高校は特殊性が高いため、どのような教育が行われているかなど、ホームページに対しての期待は高いと思います。否定的な回答の方には具体的にどのような情報が欲しいのかをアンケートで聞くなどの工夫も必要だと思います。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2021年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望																								
<p>Ⅱ 危機管理や安全対策について</p> <p>Q2 学校は危機管理や安全対策に努めていると思いますか?(生徒への危機管理教育・安全指導・学校全体のセキュリティについて)</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定 24+50(27+53)</td> <td>やや否定 12(10)</td> <td>否定 5(3)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定 49+36(32+54)</td> <td>やや否定 8(6)</td> <td>否定 0(2)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定 47+39(50+36)</td> <td>やや否定 5(5)</td> <td>否定 0(0)</td> </tr> </table> <p>「分析 Ⅱ」</p> <p>学校の危機管理や安全対策について不安に感じている保護者・生徒が一定数存在している。教職員のアンケートでも、耐震対策を含めた施設・設備面での充実の必要性に加え、学校自体のセキュリティー面での不備や生徒への危機管理教育の必要性を指摘する意見があった。避難訓練などの際に担任から生徒に安全指導を行うことはあっても、年間を通じ計画的に危機管理教育を行っているとはいえないため、組織的な取り組みも今後は必要になる。</p> <p>本校においては女子寮が併設されているため、寮における火災や地震の際の避難計画なども具体的に策定しておく必要がある。</p> <p>Ⅲ 教職員の応対</p> <p>Q3 学校に電話をかけられたとき、あるいは来校されたときに、教職員の応対は適切であると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>3年肯定</td> <td>59+34(58+37)</td> <td>やや否定 2(4)</td> <td>否定 2(1)</td> </tr> <tr> <td>2年肯定</td> <td>69+30(62+29)</td> <td>やや否定 0(5)</td> <td>否定 0(2)</td> </tr> <tr> <td>1年肯定</td> <td>74+22(78+18)</td> <td>やや否定 2(1)</td> <td>否定 0(0)</td> </tr> </table> <p>「分析 Ⅲ」</p> <p>保護者アンケートでの教職員の応対については肯定的な意見が大半を占め、評価は非常に高い。教職員のアンケートにおいても、ほぼ全員が肯定的な回答をしており、否定的な回答はほとんどなかった。今後も保護者や生徒および外部から問い合わせ等に対しては、引き続き丁寧な応対に努めていきたい。</p>	3年	肯定 24+50(27+53)	やや否定 12(10)	否定 5(3)	2年	肯定 49+36(32+54)	やや否定 8(6)	否定 0(2)	1年	肯定 47+39(50+36)	やや否定 5(5)	否定 0(0)	3年肯定	59+34(58+37)	やや否定 2(4)	否定 2(1)	2年肯定	69+30(62+29)	やや否定 0(5)	否定 0(2)	1年肯定	74+22(78+18)	やや否定 2(1)	否定 0(0)	<p>「危機管理や安全対策について」</p> <p>A氏より</p> <p>保護者の評価は最近3年間でみると年々良くなる傾向があり、昨年度来のコロナ禍の状況を考えて、危機管理は機能しているように評価できます。今後とも、感染対策等での教職員の努力に期待します。</p> <p>B氏より</p> <p>3年生の1年次(2019年度)におけるこの設問に対する回答でもほぼ同様の比率になっており、前年2018年の大阪北部地震や大型台風による被害が影響していると考えられます。学校の施設・設備面の改善がみられないことが、特に3年生保護者の不安につながっていると思います。</p> <p>C氏より</p> <p>感染対策のため、これまでのような一斉に全員が参加しての避難訓練などは難しいかもしれませんが、映像等を活用した内容のものを定期的に見たりすることでも効果があるのではないのでしょうか。</p> <p>「教職員の応対について」</p> <p>A氏より</p> <p>教職員の方の保護者や外部の方への応対は大変丁寧で全く問題はないと思います。</p> <p>B氏より</p> <p>教職員の保護者等に対する丁寧な対応にはいつも頭が下がります。今後もこれまで同様の対応で接してもらえればと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>教職員の応対については、保護者から十分評価されていると思います。</p> <p>D氏より</p> <p>教職員の方々の応対は毎回感心するほど丁寧で、子供たちを安心して任せる事ができています。否定的な意見の方には、具体的な内容を教えていただくのも必要かと思います。</p>
3年	肯定 24+50(27+53)	やや否定 12(10)	否定 5(3)																						
2年	肯定 49+36(32+54)	やや否定 8(6)	否定 0(2)																						
1年	肯定 47+39(50+36)	やや否定 5(5)	否定 0(0)																						
3年肯定	59+34(58+37)	やや否定 2(4)	否定 2(1)																						
2年肯定	69+30(62+29)	やや否定 0(5)	否定 0(2)																						
1年肯定	74+22(78+18)	やや否定 2(1)	否定 0(0)																						

学校評価アンケートの結果と分析 [2021年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p>IV 施設・設備等の教育環境の充実について</p> <p>Q4 学校は、施設・設備等の教育環境の充実に努めていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 13+43(18+43) やや否定 22(15) 否定 7(14)</p> <p>2年 肯定 29+46(30+43) やや否定 14(17) 否定 4(5)</p> <p>1年 肯定 38+38(36+49) やや否定 9(2) 否定 0(2)</p> <p>「分析 IV」 否定的な意見の割合が高い項目の1つである。1学年3～4クラス編成では、校舎内において自由に使用できる予備教室が全く無く、施設・設備の不十分さは際立ってきている。女子寮の空き部屋や大学の教室を借りるなど、応急的に対応しているのが実情である。2024年度には明浄学院との統合が予定され、阿倍野キャンパスに新校舎を建築して移転する計画も進んでいる。一方で、音楽室、理科実験室、情報処理室など現状で設置できていない施設・設備についても教育環境の充実という点から考えると必要不可欠なものであるため、法人本部の協力も得ながら改善を図っていきたい。</p> <p>V 保護者との連携や情報発信について</p> <p>Q5 学校は、保護者との連携や情報発信に努めていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 26+52(35+48) やや否定 14(10) 否定 5(4)</p> <p>2年 肯定 49+35(41+43) やや否定 12(13) 否定 3(3)</p> <p>1年 肯定 53+38(51+39) やや否定 3(8) 否定 1(0)</p> <p>「分析 V」 フェアキャスト（学校連絡網サービス）の導入により保護者・生徒への緊急時の連絡を短時間で確実にできるようなになっている。 アンケートでは保護者は約9割、教職員はほぼ全員が肯定的な回答であった。一方で、学校内でのことをもっと詳しく知りたいという保護者の声も多いため、学年通信などの発行回数を増やすなど、情報発信の機会を増やし保護者との連携を深めるよう努力したい。 また、地域との連携については教職員の約6割が取り組み不十分であるという回答であった。地域との連携や情報発信についても、今後は積極的に進めていきたい。</p>	<p>「施設・設備等の教育環境の充実について」</p> <p>A氏より 理科実験室、情報処理室等の整備の必要性が言われているが、具体的にどういう設備を、いつ、どこに設置するかの具体的な計画が必要になると思います。学校移転計画のこともあるので、情報処理施設などは大学の施設を一時的に活用させてもらうなどの方法も検討されてはどうでしょうか。</p> <p>B氏より 女子寮の部屋はあくまで女子生徒の居住場所であるので、一時的とはいえ教室代わりに使用し、男子生徒を入室させるのはいかがなものかと思いません。また、施設設備を整えることなく、生徒、クラス、コース等を増やしていくことが、教育の質を落とすことにならないかと危惧します。</p> <p>C氏より 女子トイレの増設など、施設や設備などの教育環境は、徐々にですが充実してきているように思えます。建物自体が老朽化している状況もあるため、大変だとは思いますが、今後も教育環境の充実に努めていってほしいと思います。</p> <p>「保護者との連携や情報発信について」</p> <p>B氏より フェアキャストで連絡があった場合に、改めてホームページで情報を確認しないといけない場合もあるため、必要な学年にだけ直接連絡がいくようなシステムがあれば便利だと思います。</p> <p>C氏より 小中学生とは違い、対象が高校生であるため、情報発信は現状で十分であると考えます。否定的な意見の内容が知りたいです。</p> <p>D氏より 藍野高校では保護者が関わる行事が少ないため、情報の発信については懇談会等でわかりやすくきちんと伝えられていると思います。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2021年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p>VI 授業の工夫について</p> <p>Q6 授業の内容や指導方法に、工夫がされていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 14+49(17+47) やや否定 11(11) 否定 7(3) 2年 肯定 30+46(25+42) やや否定 10(10) 否定 1(5) 1年 肯定 38+35(28+30) やや否定 5(5) 否定 3(1)</p> <p>「分析 VI」 教職員のアンケートでは、全員が授業内容や教材、指導方法に工夫をしていると回答していたが、約半数は組織的な取り組みが出来ていないと回答していた。</p> <p>例年、マークシート形式の授業アンケートを1学期終了直後に実施し、その結果を各教員にフィードバックすることで2学期以降の授業改善の参考としてもらっている。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う長期の休校があった関係で、例年1学期末に実施している授業アンケートは実施できなかったが、この取り組みは今後も継続していきたい。また、本校教員による定期的な研究授業の実施や保護者のために授業参観の機会を設けるなど、教員のスキルアップを目的とした組織的な取り組みにも力を入れていきたい。</p> <p>VII 生徒の悩みや問題について</p> <p>Q7. 学校は生徒の悩みや問題に対して適切に対応できていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 19+44(27+43) やや否定 11(8) 否定 12(1) 2年 肯定 38+32(36+43) やや否定 12(8) 否定 1(2) 1年 肯定 37+27(34+23) やや否定 4(9) 否定 1(0)</p> <p>「分析 VII」 教職員のアンケートでは9割が肯定的な回答をしている。保護者アンケートでは約7割の保護者が肯定的な回答をしているが、否定的な意見が1割程度みられる。本校の大半の教員は、日頃から生徒の体調や出席状況の把握に努め、こまめな声掛けや面談も積極的に行い、保護者との連絡も密にするよう心がけている。例年、定期的に実施している「学校生活アンケート」などの結果も参考にした上で、「いじめ」を含む生徒間のトラブルには日頃から注意を払い、問題が発生した場合には、組織的かつ迅速な対応ができるような体制づくりを心がけたい。</p>	<p>「授業の工夫について」</p> <p>A氏より 授業方法の組織的な改善が十分ではないことは以前から教職員に自覚されており、思うようにならないさまざまな要因があるものと推察します。看護教育研究委員会を立ち上げるなどの努力もされているようなので、看護教員を含めさまざまな教科の教員がオープンに研究授業を行うなどの取り組みを進められることを期待します。</p> <p>B氏より 先生方が「授業内容や教材・指導方法に工夫をしている」と回答されているので、研究授業でその工夫を共有したり、他教員から意見をもらったりすればよいのではないのでしょうか。そのことが組織的な取り組みにつながるとと思います。</p> <p>C氏より 授業の工夫は本当に難しいと思いますが、研修会への参加など、先生方も努力を重ねられているのが理解できます。1年生の評価が高い点からもそれが裏づけられると思います。</p> <p>「生徒の悩みや問題について」</p> <p>A氏より 専門性が高く、社会性を身につけることも求められる高校生活において、悩みが多くなるのは当然のことだと思います。先生方は十分な対応をいただいていると感じます。</p> <p>B氏より 藍野高校の教職員は本当によく生徒達の話をお聴いてくれていると思います。休憩時間中も校内のあちこちで生徒と話す先生を見かけます。</p> <p>C氏より 本音で話をしてくれない生徒も多く、生徒がかかえる問題を把握するのが難しい状況もあります。生徒同士で話しあう機会も少なくなっているようで、噂に惑わされてしまう生徒も多いのではないのでしょうか。</p> <p>D氏より 藍野高校の先生方はクラス・学年の枠を超えて生徒の話をお聴いてくださっていると思います。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2021年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望																																										
<p>Ⅷ 高校生の服装やマナー等について</p> <p>Q8. 藍野高等学校生の礼儀や挨拶ならびに頭髪・服装等身だしなみはきちんとしていると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定</td> <td>17+55(18+53)</td> <td>やや否定</td> <td>14(17)</td> <td>否定</td> <td>7(4)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定</td> <td>23+52(23+44)</td> <td>やや否定</td> <td>13(13)</td> <td>否定</td> <td>3(5)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定</td> <td>45+39(28+50)</td> <td>やや否定</td> <td>5(7)</td> <td>否定</td> <td>0(0)</td> </tr> </table> <p>「分析 Ⅷ」</p> <p>8割の保護者が肯定的に捉えているが、否定的な意見の割合は学年があがるにつれて増える傾向にある。教職員では肯定的な意見が約7割、否定的な意見が約3割を占めている。服装やマナー等に関する指導は生活指導部が中心になり全教職員で行っているが、学年や教員によって指導内容に差が出てしまい、それが保護者や生徒の不満にも結びつくという状況が続いている。生徒からは学校の厳しい指導に対する不満が聞こえてくることもあるが、将来の医療従事者である自覚を促し、教職員が足並みをそろえて粘り強く指導していくことが重要であると考えられる。</p> <p>Ⅸ 清掃や整理整頓について</p> <p>Q9 学校は清掃や整理整頓が行き届いていると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定</td> <td>35+38(30+45)</td> <td>やや否定</td> <td>5(5)</td> <td>否定</td> <td>4(2)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定</td> <td>36+40(48+34)</td> <td>やや否定</td> <td>1(0)</td> <td>否定</td> <td>1(2)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定</td> <td>49+34(46+28)</td> <td>やや否定</td> <td>1(0)</td> <td>否定</td> <td>1(1)</td> </tr> </table> <p>「分析 Ⅸ」</p> <p>例年同様、放課後に2、3年生はホームルーム教室、1年生はホームルーム教室およびトイレ、体育館などの共用場所の清掃を行った。保護者アンケートの結果では、各学年とも7～8割の保護者が肯定的な回答をしている。また、教職員も約7割が肯定的な回答をしており、清掃・美化に対する学校での取り組みが一応成果をあげているものと思われる。</p>	3年	肯定	17+55(18+53)	やや否定	14(17)	否定	7(4)	2年	肯定	23+52(23+44)	やや否定	13(13)	否定	3(5)	1年	肯定	45+39(28+50)	やや否定	5(7)	否定	0(0)	3年	肯定	35+38(30+45)	やや否定	5(5)	否定	4(2)	2年	肯定	36+40(48+34)	やや否定	1(0)	否定	1(2)	1年	肯定	49+34(46+28)	やや否定	1(0)	否定	1(1)	<p>「高校生の服装やマナーについて」</p> <p>A氏より</p> <p>3年生の評価が低いのは、最高学年によるもので、気のゆるみが身だしなみに出ていると思います。先生方にはこれまで通り、医療従事者を育てるという意識で指導していただければと思います。</p> <p>B氏より</p> <p>校則が厳しいということより、教員によって指導に差があることの方に生徒は不満を持つようです。統一された学校の方針で指導が行われることを望みます。</p> <p>C氏より</p> <p>大半の生徒が挨拶をしてくれますが、こちらが挨拶をしても挨拶を返さない生徒も一部見受けられます。挨拶をすることは基本マナーですから、登校時、下校時は挨拶をするよう心掛けてほしいと思います。</p> <p>D氏より</p> <p>実習時だけではなく普段からマナーや身だしなみを整えることは、医療現場で出会う様々な世代の患者さんへの礼節につながると思います。</p> <p>「清掃や整理整頓について」</p> <p>B氏より</p> <p>教員も担当場所で生徒と一緒に清掃する取り組みの成果が上がっていると思います。</p> <p>C氏より</p> <p>特に寮内の女子更衣室の汚れが目立ちます。体育の授業の後など、グラウンドの土で女子更衣室の床が汚れた状態になっていることがあります。施設を使用する際の配慮がもう少し必要だと思います。</p> <p>D氏より</p> <p>上靴に履き替えない藍野高校ですが、廊下などはずっときれいな状態に保たれていると思います。一方で、教室清掃では大きなゴミが落ちていることもあり、生徒の美化意識を変えさせることも必要かと思います。</p>
3年	肯定	17+55(18+53)	やや否定	14(17)	否定	7(4)																																					
2年	肯定	23+52(23+44)	やや否定	13(13)	否定	3(5)																																					
1年	肯定	45+39(28+50)	やや否定	5(7)	否定	0(0)																																					
3年	肯定	35+38(30+45)	やや否定	5(5)	否定	4(2)																																					
2年	肯定	36+40(48+34)	やや否定	1(0)	否定	1(2)																																					
1年	肯定	49+34(46+28)	やや否定	1(0)	否定	1(1)																																					

学校評価アンケートの結果と分析 [2021年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p>X 進路に関する指導について</p> <p>Q10 進路に関する指導や面接、情報提供等が十分に行われていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 18+29(16+41) やや否定 21(17) 否定 14(6) 2年 肯定 17+42(23+42) やや否定 18(3) 否定 4(3) 1年 肯定 24+17(27+23) やや否定 3(6) 否定 1(0)</p> <p>「分析 X」</p> <p>肯定的な回答が保護者では約5割と少なく、アンケート項目中、肯定的な回答の割合が Q11 に次いで2番目に低い項目であった。ただ、否定的な回答が多いというわけではなく、「判断できない(わからない)」という回答が全体の3~4割を占めるため、学校生活に関係する様々な事項についての保護者への情報発信ができていないことがうかがえる。</p> <p>生徒全員が看護師を志し、その大半が卒業後、短期大学部に内部進学するという本校の特殊事情もあって、これまで生徒や保護者に進路関係の情報を積極的に提供する機会を設けてこなかった。このことも肯定的な割合が低いことの一因であると考えられる。2020年からは4年制の医療系大学進学を目指す「メディカルサイエンスコース」を新設したことで、医療系の専門学校や大学に関する入試情報の収集・分析にも力を入れることが必要になる。保護者・生徒が必要とする情報を、速やかにかつ正確に提供できるような体制づくりを今後は目指したい。</p> <p>XI 学校行事等について</p> <p>Q11 生徒は学校行事や生徒会行事に満足していると思いますか? %で表示 ()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 7+24(6+51) やや否定 43(26) 否定 21(6) 2年 肯定 8+30(18+47) やや否定 32(10) 否定 14(10) 1年 肯定 14+25(11+20) やや否定 11(11) 否定 1(0)</p> <p>「分析 XI」</p> <p>否定的な回答の割合は前年より増加し、保護者の約3割が否定的な回答をしている。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生徒が楽しみにしている体育祭、遠足、修学旅行など大半の行事が取りやめとなり、また、入学式や卒業式、戴帽式などの式典も中止または規模を縮小しての実施となった。これらのことがアンケート結果に反映されたものと考えられる。本校のような専門学科においては、授業時間数の関係もあって学校行事に取り組める時間は限られる。学校行事の運営や企画・立案を生徒会が中心になって行えるよう、教職員も積極的に関わっていきたい。</p>	<p>「進路に関する指導について」</p> <p>A氏より</p> <p>分析でも述べられているように、保護者に対して進路に関する必要な情報が十分発信されていないのではと危惧します。短期大学部と連携し、必要に応じ短期大学部の教員による説明が必要であると思います。メディカルサイエンスコースについても、進路情報提供と指導をどこが行うかなどについては組織的に対応されるようお願いいたします。</p> <p>B氏より</p> <p>「短期大学部に進学できるかどうかわからない」と話す生徒もいるので、進路説明をしっかりとすることに加え、相談窓口の明確化が必要になると思います。</p> <p>C氏より</p> <p>1年生保護者の過半数が「判断できない(わからない)」と回答しており、今後、保護者と高校とで情報のやり取りをお願いします。まず、保護者や生徒の希望が何なのか、不安を取り除く上で学校として何ができるのか、について早めのアクションを取られることを期待します。</p> <p>「学校行事等について」</p> <p>B氏より</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により大半の学校は行事を取り止めにせざるを得ない状況になっています。藍野高校では看護の専門授業や実習などもあるため、限られた時間を活用し、生徒会が中心になって行事を企画することはとてもよいことだと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>コロナ禍のため文化祭などの行事は例年と比べ規模を縮小したものとなりましたが、感染対策のために入場制限を行いながら様々な企画に取り組んだ生徒の姿勢には感心させられました。</p> <p>D氏より</p> <p>高校卒業・准看護師免許取得という2つのカリキュラムを3年間でこなすという厳しい現状が生徒や保護者にうまく伝わっていないのではないかと感じます。</p>